



日本語学習者の漢字・語彙の学習方法について

中西, 泰洋

(Citation)

神戸大学留学生センター紀要, 14:21-27

(Issue Date)

2008-03

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(JaLCD0I)

<https://doi.org/10.24546/81001031>

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81001031>



日本語学習者の漢字・語彙の学習方法について

中西 泰 洋

キーワード：日本語学習者、学習方法、漢字・語彙

1. はじめに

1998年度に文部科学省（当時は文部省）の「教材開発特別事業費」により、神戸大学留学生センター開発教材1として『フレーズでとらえる漢字・語彙の研究ノート』を作成した。それ以来、本教材を使用して当センターの「総合日本語コース」において「漢字・語彙Ⅲ」の授業科目を担当している。

中西（2003）で、「日本語の会話表現や文表現に用いられる内容語相互の結びつきには一定の親疎関係が存在しているのである。助詞や助詞相当語などを媒介として、内容語は相互に結びつきやすいものと、そうでないものがある。そのような語と語の結びつきを日本語語彙のネットワークという。」とし、中西（2004）では「日本語の表現語彙のネットワーク」と捉え直し、このような観点からの効果的な漢字・語彙指導法に腐心しながら、授業を展開してきた。

教授活動と学習活動は言語習得における両輪であるが、これまでは教室で学んだ新しい漢字やことばを覚えるために学習者自身がどのように勉強しているのか、その習得状況については余り意識してこなかったというのが実感であり、検討を加える努力をしてこなかったと言える。そこで、本稿では学習者がどのような方法で新しく学んだ漢字やことばを覚えているのかについて調べてみることにした。このことを今後の指導法の改善に活かしたいと考える。

2. 受講生の学習方法について

2007年度前期の「漢字・語彙Ⅲ」の受講生は30名で、そのうち漢字圏の学生が10名、非漢字圏の学生が20名であった。大学院所属の研究生と学部所属の交換留学生が中心で、日本語日本文化研修留学生も含まれている。本授業は日本語課外補講科目であり、学期末が近づくと大学院入試を控えていることもあって、受講者数が減少するのが現状であり、学期最後の授業の参加者は22名（漢字圏9名・非漢字圏13名）であった。その折に、彼らを対象に「新しい漢字やことばをどのように勉強して覚えるか？」ということについて自由記述式のアンケート（記名式）を実施した。以下がその回答である。漢字圏・非漢字圏別に提示したが、韓国語母語話者につい

ては、現状としては非漢字圏に入れても良さそうだが、従来通り漢字圏として扱った。(なお、回答内容については、筆者が文法的な誤りを訂正する等、意味が通るように最小限度の修正を加えた。また、下線も筆者が施したものである。)

漢字圏の学生

A. 中国・女性・大学院・研究生

先ず、漢字やことばの意味を理解する。次に、その漢字やことばを用いた例文を読む。そして、その漢字やことばを使う。

B. 中国・男性・大学院・研究生

中国人なので漢字は覚えやすいので、日本語の漢字ゲームをして、遊びながら覚える。また、インターネットで日本語の文章を読んだり、日本人とメールのやり取りをする。そして、書いて練習して覚えていく。

C. 中国・女性・学部・日本語日本文化研修留学生

先ず、漢字やことばの表す意味を覚える。次に、日本と中国の漢字を混同しないように、漢字の違うところに注意しながら覚える。最後は書く練習である。パソコンなどを使うより、手で書いて練習すれば、自然に身に付く。

D. 中国・男性・大学院・研究生

中国人なので、他の国の人よりも漢字は覚えやすい。日本と中国の漢字の書き方の違うところをよく注意して覚える。日本語の漢字には訓読みと音読みがあるので、それをちゃんと整理し、使い分け、ことばと対照しながら勉強していく。

E. 中国・男性・大学院・研究生

新しい日本の漢字と中国の漢字で、どこが違って、どこが同じかについて注意しながら、覚える。使われている文をよく読んで覚える。

F. 中国・男性・大学院・研究生

新しい漢字やことばの読み方をしっかり勉強する。音読みには法則があるけれど、訓読みには方法がないので、練習また練習である。

G. 中国・女性・大学院・研究生

新しいことばが出てくるとすぐに辞書で調べて、例文をよく読む。大きな声で読みながら覚える。どこかで同じことばを聞いたときに意味が分かれば覚えたことになる。ニュースを聞いたり、友達と話したりしながら、ことばを覚える。漢字の場合はよく書いたり、新聞を読んだりして覚える。

H. 韓国・女性・学部・交換留学生

特に、試験がある場合は何度も書きながら覚える。そうでない場合はテレビや日常生活の中で記憶に残ることばだけをノートに書いておき、寝る前にそれを見ると、その日の面白かった状況と一緒に思い出されて覚えやすい。そのノートを集めておくと、良い単語帳になる。漢字については、目で写真を撮るように記憶し、それを繰り返して見ていると覚えられる。

I. 韓国・女性・学部・交換留学生

まずは覚えられるまで何度も書きながら、時には声を出して読みながら覚える。しかし、難しい漢字はすぐに忘れることもあるので、自分の単語帳を作って、分からない漢字と読み方などを書いておく。ある時には自分で小テストをする。

非漢字圏の学生

J. アメリカ・女性・学部・交換留学生

新しい漢字は何度も書いて覚える。

K. アメリカ・女性・学部・交換留学生

新しい漢字やことばを覚えるために、漢字やことばをたくさん書いている。

L. アメリカ・女性・学部・交換留学生

まず、新しい漢字の読み方と意味を理解する。それが覚えられたら、書く練習をする。大体20～30回書いてから、2～3回自分でテストして覚える。

M. アメリカ・男性・学部・交換留学生

新しい漢字やことばをカードにして、勉強して覚える。そして、文に書いたり日記で使ったりして覚える。

N. オーストラリア・女性・学部・交換留学生

最初に大きなカードに漢字を書いてから、カードを見て漢字を覚える。そのカードの裏に読み方とことばの意味を書いてあるので、それを見ながら、書く練習をする。

O. フランス・男性・学部・交換留学生

新しい漢字やことばを何回も書いて、できるだけ表現として勉強して覚える。

P. ドイツ・男性・大学院生

新しい漢字を1、2回書いて、ことばの意味を理解して覚える。これを繰り返す。ほとんど、表現として勉強する。ことばの意味が分かれば、漢字が覚えやすくなる。

Q. ドイツ・女性・学部・交換留学生

新しい漢字を10回ぐらい書く。書きながら読み方をリピートする。複雑な漢字の場合は頭の中で（他の人には多分納得できないような）橋をつくる。分からないことばは、自分で調べて、使ってみて、ノートに記しておく。

R. ポーランド・男性・学部・日本語日本文化研修留学生

漢字カードを作って、裏側に読み方や熟語を書いて、何度も復習する。そして、書き方を身に付けるために、何度も漢字を書いて覚える。

S. ポーランド・女性・学部・交換留学生

新しい漢字を何度も繰り返し書く。その漢字の使い方や例文を辞書で調べて覚える。ポーランドの漢字の授業ではローマ字で書かれた文章を漢字で書くという練習もした。

T. リビア・男性・大学院・研究生

新しい漢字は、とにかく何回も書いて練習する。また、自分が前から知っている漢字と比べて、ある部分を変えると、違う読みになることも一緒に覚える。

U. ルーマニア・女性・学部・交換留学生

新しい漢字の書き方と読み方を何回も書く。2日後ぐらいに、もう一度練習する。新しいことばを勉強した後、友達との会話で使って試す。

V. ラトビア・男性・学部・交換留学生

二つ覚え方がある。普通は、漢字をよく見て書いて覚える。もう一つの覚え方は、本を読むことで覚える。日本人の作家はたくさんの漢字を使う。一人の作家の本を読むと、よく使われている漢字は覚えやすくなる。

上記のアンケートの回答を見ると、次のようなことが分かる。

- ①A、B、C、G、H、I、J、K、L、M、N、O、P、Q、R、S、T、U、Vは、新しい漢字やことばを覚えるために、何度も書いている。22人中19人の学生（約86%）が学習方法として書いており、非漢字圏学習者の全員が含まれている。
- ②A、B、D、E、F、G、I、L、N、Q、R、T、Vは、読むことで新しい漢字やことばを学習している。22人中13人の学生（約59%）が学習方法として読んでおり、漢字圏学習者の方の割合がやや多くなっている。
- ③A、C、G、L、N、P、Q、Sは、辞書等を使って新しい漢字やことばの意味を把握することに重点を置いて学習している。
- ④中国語母語話者であるC、D、Eは、日本と中国の漢字の字形の相違に注意しながら、学習している。
- ⑤B、H、I、M、N、Q、Rは、カードや単語帳（ノート）やゲームを工夫して作り学習している。
- ⑥B、G、M、Uは、インターネット、メール、ニュース、新聞、日記、友人との会話等を通じて学習している。
- ⑦IとLは、自ら小テストを作って学習している。
- ⑧H、Q、Tは独自の視覚的あるいは既習漢字等との連想による方法で学習している。
- ⑨OとPは、表現として捉えながら学習している。

以上のように、①、②、③、⑨から、学習者は意味を理解し（文脈化し）、書くことと読むことを通して、新しい漢字やことばを学習していることが分かる。④から、母語を意識しながら学習していることが分かる。⑤から、カードや単語帳（ノート）やゲームなどの独自の工夫をしながら学習していることが分かる。⑥と⑦か

ら、I T等のリソースや様々な機会を通じて運用し、学習していることが分かる。
⑧から、学習者独自の認知方法で学習していることが分かる。

3. おわりに

学習者は教室活動で学んだ新しい漢字やことばを身に付けるために、意味を理解しながら書くことと読むことを通して学習している。特に、漢字の字形を習得するために書いて覚えようとする学習者の多いことが改めて確認された。そして、学んだ漢字・語彙を表現として日常生活の中で積極的に運用しようとしていることも分かった。また、学習者自身が個性的に学習していることも窺えた。

上記のことは、今後の漢字・語彙指導を考えていく上で多くの示唆を与えてくれている。第一に、表現語彙のネットワークという視点から、漢字・語彙を書くことと読むことについての指導が重要であること。第二に、文脈化させ明確に意味を説明する指導が重要であること。その他に、学習方法について、例えば辞書の選び方と調べ方、単語帳（ノート）・カード等の作り方と活用の仕方、様々なリソースの使い方等に関しても、学習者に適切な指導をすることが重要であることが改めて確認できた。

教授者は、学習者の特に教室外での学習方法を考慮しながら、彼らの学習方法が生かされるような指導をすることが必要であり、能力の向上が芳しくない学習者に対しては有効な学習方法についての助言を行う必要がある。

参考文献

- 中西泰洋2003「語彙教育を考える－表現語彙を中心として－」『神戸大学留学生センター紀要』第9号
- 中西泰洋2004「日本語の表現語彙のネットワークについての一考察」『総合学術学会誌』第3号 日本総合学術学会
- 宮里里司他1999『日本語教育と日本語学習－学習ストラテジー論にむけて－』くろしお出版

Kanji and Vocabulary Learning Methods
observed by learners of Japanese as a foreign language

NAKANISHI Yasuhiro

In this paper, I look at what methods learners of Japanese use to remember new kanji and vocabulary that they have learnt. These findings will be used to improve teaching methods.

I implemented a questionnaire which asked ‘How do you study and remember new kanji and vocabulary?’ The results showed that learners remember new kanji and vocabulary they have learnt in class by reading and writing the items while they understand the meaning. In particular, this survey confirmed the fact that many learners remember the items by writing them. Also, it is seen that they actively use the kanji and vocabulary they have learnt in their daily lives, and that there are distinct individual difference in learning methods used.

From the above many ideas about how to teach kanji and vocabulary have come to light. Firstly, instruction on both reading and writing is important. Secondly, it is also important to give instruction by explaining the meaning clearly using context.